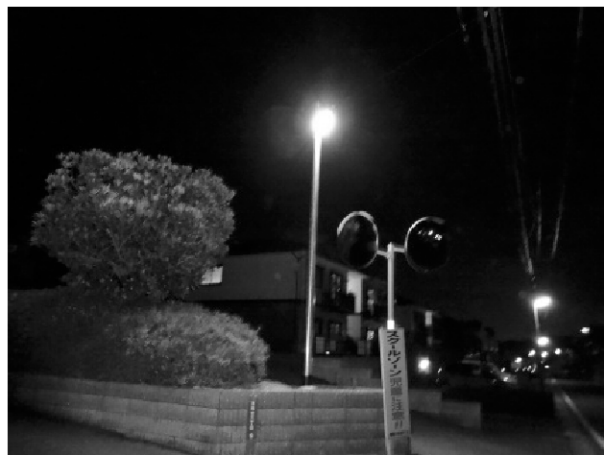


安全・安心のLED防犯灯が設置！



▲LED防犯灯設置された交差点

南風校区にお住まいの方から「深夜、路線バスを利用される方が、我が家の前の交差点を通られますが真っ暗で非常に危険です」とのお声を頂きました。早速、博多からの最終バスが到着する23時49分、ご相談された場所に立ちました。すると、数人の方がバスから降りてこちらに向かってこられました。確かに暗い四つ角であり自転車との接触事故も想定されます。糸島市の防犯灯設置費用は、全額糸島市が負担します。電気使用量は1/3が地元行政区に負担をしていただいています。

設置要望は、議員を通さずに直接、行政区長から糸島市危機管理課に要望を出していただくようにしています。行政区長にお願いする前に、電柱地中化地域の住宅街でもあり防犯灯の設置が可能かどうかを、糸島市に確認しました。「地元からの要望があれば6月中には、設置できるでしょう。笹栗議員が推進されているLED防犯灯（ポール式）を採用できるでしょう」との返事をいただいたので、相談された方に「行政区長さんに、ご相談下さい。地元から要望があれば、設置可能ですよ」とお伝えしました。行政区長さんは近隣の了解を取られた後、要望書を市に提出され、6月中に設置が完了しました。

悪臭を放った柳川(二丈)が蘇りました



▲河口が開口された現場

6月11日「河川の悪臭が堪らない」との連絡をいただきました。翌日、現場を歩いて確認作業を行いました。悪臭の原因は、河口付近で土砂が堆積し川がせき止められ、生活用水が混入して悪臭が発生していました。

現地から糸島市農林水産部に早急に対応を求めました。既に、河川近隣行政区から糸島市に改善の要望書が提出されていました。

糸島市農林水産部から教育委員会に「河口の開口作業が終わるまで、川遊びは出来ません」との周知をしていただきました。

市当局も河口の開口作業の着手を早めていただき、翌週の6月17日（月）には、大型のブルドーザーが河口を堰き止めていた土砂を取り除き、元の綺麗な川に戻りました。

河口から少し上流には、「中津藩船着場跡」の立札も現存しており、昔も中津藩の天領として活気あふれた地域であったことが偲ばれました。早期に決着し、地元の皆様に非常に喜んでいただきました。悪臭に悩まされておられた河川付近にお住いの皆様がお声を出していただき感謝しています。

6月一般質問質疑より（要旨）



笹栗純夫(ささぐり すみお)

平成14年より前原市議会議員

として活動。平成22年1月

「糸島市」誕生、2月に糸島

市議会議員当選。

■建設産業常任委員会委員

■糸島市監査委員(議会選出)

魅力的で活力あるまちづくりの為の施策を！

〈ささぐり〉

各分野のスペシャリストを非常勤アドバイザーとなつていただく制度の構築を！

〈執行部答弁〉

本市では昨年10月から導入しています。職員の政策形成能力の向上が重要であり、アドバイザーからの専門性の高い助言、提言、その他の支援を受けて、より効果的かつ効率的な施策を展開し、市民の皆様の満足度を高めていく必要があります。ひいては、そのことが、糸島市の魅力向上につながり、知名度を高めるものと考えております。

〈ささぐり〉

ネーミングライツ（命名権）を導入し、スポンサーのお力をかりて、糸島の自然の魅力を全国に発信を！

〈執行部答弁〉

みじかな施設の名称を変更するには、住民の理解と合意が不可欠であり、また企業のメリットなども考慮しなければならず、ネーミングライツの導入は今後の検討課題であると考えます。



▲はまぼうの里 泉川

〈ささぐり〉

福岡市と連携しての市民参加型

フルマラソン開催で 糸島市は参加者、スポンサーの期待にどう応えるのか

〈市長答弁〉

スポンサーの期待に応えるには、全国的に魅力あるイベントにする事が必要です。そのために、様々な創意工夫をこらしながら、話題性やPR効果のある大会にし、注目度を高めて、協賛企業の宣伝効果をアップさせるよう努力します。

6月一般質問質議より（要旨）

〈ささぐり〉

糸島市のお土産や特産品を販売する

「いとしま物産館」（仮称）誘致に乗り出さないか。

＜執行部答弁＞

私どもの発想としては、糸島全体が一つの物産館であり、テーマパークだと考えています。

沢山ある糸島の魅力、特産品などを一つの物産館、施設の中に入れ込んでしまうのには無理があり、仮に入れ込んだ場合、その魅力が半減してしまうと思っています。

糸島という大きな物産館の中で、地元事業者が切磋琢磨し、魅力ある物産館をつくり上げてもらいたいと思っています。観光客の皆さんは、1か所で買い物をして終えるのではなく、いろいろな地域の歴史・文化、風景や香り、人との会話、雰囲気、そこでしか味わえない食べ物などを楽しみに観光しています。そのため、それぞれの地域性、魅力を大事にしながら、糸島全体を周遊していただけるような観光を目指しています。市内各地を回遊してもらい、お金も落としてもらう糸島市全体を「まるごと物産館」とする構想を持っています。



▲糸島市街夜景

〈ささぐり〉

自転車駐車場の整備について

「JR筑前前原駅北口から離れたところに、自転車駐車場がある。使い勝手が悪いと指摘されてきた。解決に踏み出すべきと考える。」



▲前原自転車駐車場

〈ささぐり〉

観光客を向かい入れようとするならば、全駅とも駅は糸島の玄関であると認識していますか、如何ですか。

＜執行部答弁＞

駅は、糸島市を訪れる方を迎える場所であり、送り出す場所であると考えていますので、糸島市の玄関であると認識しています。

現地報告 一人のひとを一人の声を、大切に！

安全のため路肩に反射板(ポール)設置



▲新設された反射ポール

前原南校区内の道路改良工事、側溝工事が完了した後、離合のため道路脇の蓋がない側溝に宅配便の車が飛び込んだとの連絡を受けました。

運転手は側溝があることがわからず、車寄せをして横転したとのこと。宅配業者は、配達時間指定の荷物を積んでいたそうです。

「運転手さんが可愛そうでした。二度と同じような事故が起きないようにしてください」とお願いされました。

翌日、市当局に現場確認と何らかの対策を講じていただくよう依頼しました。数日後、事故現場前にお住いの方から「反射板（ポール）が立ちました。見に来てください」との嬉しい報告をいただき現場を確認しました。

カーブミラーが機能していない！



▲機能していないカーブミラー

JR鹿家駅から国道202号線に出る三叉路には信号機は設置されていません。頼りとなるのは二面カーブミラーです。

このカーブミラーは、今から22年前の平成3年1月に設置されたものでした。22年間の間に交通量の増加、国道の拡幅工事などがあり平成24年度から地域運行バスも走るようになりました。地域運行バスの車両は糸島市が購入し、運行される校区に提供。運営は地元校区に委ねています。ドライバーの方も地元校区の方がボランティアでされています。

ドライバーの方からご相談がありました。「カーブミラーが電柱の間から見えたり見えなかったり非常に危険です」連絡を受け、現地に直行。

現状を確認した後、デジカメをもって糸島市役所へ駆け込みました。市当局も現場に赴き状況を確認されました。

すぐ横にある九電柱に付け替えが決定しました。付け替え工事が完了するまで、もうしばらくお待ちください。

移設完了後もカーブミラーは補助的なものであり、運転にはくれぐれも用心していただきたいと願っています。